



国際会長 (IP) A. Shanavaskhan (India)

Together for a Better World

「より良い世界のために、共に」

アジア太平洋地域会長 (AP) ジョウン・ウォン (香港)

“Make a Great Impact”

「大きなインパクトを起こそう」

東日本区理事 (RD) 山田 公平 (宇都宮)

“Our Future Direction”

「ワイズの方向性を見極める」

湘南・沖縄部部長 (DG) 久保勝昭 (横浜つるみ)

「共に支え合い〜共に喜びを」

横浜クラブ会長 (CP) 古田 和彦

「楽しんで、できる範囲で、YMCA と地域に伝えよう (パート II)」

会長 古田 和彦

副会長 秋元 美晴

書記 古賀 健一郎

会計 大高 治

直前会長 古賀 健一郎

監事 松島 美一

ブリテン 秋元 美晴

担当主事 立花 明美

### <今月の聖句>

松島 美一

「ユダヤ人たちは、(略)、わたしたちをも激しく迫害し、(略)、あらゆる人々に敵対し、異邦人が救われるようにわたしたちが語るのを妨げています。」

(テサロニケの信徒への手紙 I 2: 15-16)

### 今月のひとこと

#### 新しい趣味？

齋藤 宙也

今年も、10月上旬まで、ある程度暑い日が残った。ようやく秋が訪れてきて、暑さが収束してきた。一方、私の忙しさの方は収束せず。9月のうちは、依頼者に対し、「この暑さが収まるのとどちらが早く (原稿などが) できるか…」と冗談めいて話していたが、暑さの方が先に収

まってきた。ブリテンの原稿も、自分が担当かどうかも把握しないまま毎回個別に催促されて気付くような体たらくである。申し訳ありません。

2年前に体調を崩し、満1年以上全く車の運転をしなかった。かつては電車通勤でありながら年間1万キロくらいは走っていたのに、最近は、年間1000キロくらいのペースで、ドライブでは旅行もしていない。近場はある程度乗れるようになっているものの、過労気味のときは運転を回避するよう努めてもいる。

かつては、全国を走り回るのが趣味であった。しかし、今、それができなくなっている中で、新しい趣味を開拓しようとしても、今度は仕事などでそれどころではない。YMCA やワイズの関係についても、10月は、140周年記念礼拝、第1例会、同盟理事会と続く。チャリティーランと部大会まではたどり着けません。本当は、常議員会も…。Y絡みでも忙しい中、もはや発想の転換で、YMCA を趣味にすればよいのではないかと思いはじめた。そうすれば、Yの行事も、飽くまで趣味として参加しているのだと割り切れる。

今はさすがにないのかもしれないが、YMCA 自体、かつては、社交ダンスのような割と趣味といえるプログラムを提供していた。今でも、うたごえ喫茶は趣味と言える。こう考えると、Yに関わる=趣味に取り組むと考えると、さほど不自然ではない。Yの人脈に会うことも、趣味と言えは趣味である (ちなみに、私がロータリークラブの会長をした年度は、Y関係者に何人か卓話に来てもらった。)

Yが続く限りはなくなる趣味なので、生涯の趣味=YMCA は結構成り立つと思う。他方、趣味なので、無理しては出ません。そのバランスも大事である。

<2024年9月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
14名	メ 6名 メネット 0名 コメット 0名 ビジター 2名 ゲスト 1名 合計 9名	50% (メーキャップ 1名を含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円

<10月の行事予定>

BF / i GO STEP

日	曜	時間	行事内容	場所
10/5	土	13:00	横浜 YMCA140 周年記念 礼拝・感謝会	横浜海岸教会 英一番館
10/10	木	18:30	第一例会	中央 Y, Zoom
10/19	土	10:00	チャリティーラン	臨港広場
10/24	木	17:30	第二例会	Zoom
10/26	土	14:00	湘南・沖縄部部大会	とつか Y

9月第一例会報告

古賀 健一郎

日時 : 9月12日 (木) 18:30~20:30  
 会場 : 横浜中央 YMCA 801 教室  
 出席者 : 秋元、大高、古賀、田口、立花、古田  
 ゲスト : (卓話者) 山本俊正日本 YMCA 同盟会長  
 ビジター : 板崎俊子(鎌倉)、鈴木茂(横浜つづき)

例会は、古賀ワイズの司会により定刻に開始。古田会長の開  
 会点鐘、挨拶。ワイズソング、ワイズの信条の唱和。ゲスト、  
 ビジター紹介の後、古田会長による聖句朗読とお祈りがあつ  
 た。

卓話は、山本俊正日本 YMCA 同盟会長による『キリスト教の平  
 和ー「剣を打ち直して鋤とし、槍を打ち直して鎌とする。」ー』  
 と題してのお話。

(以下は山本俊正氏のお話の抜粋です)。

\*\*\*\*\*

キリスト教における平和は、単に戦争がない状態を指すもの  
 ではなく、神が創造された秩序に基づく正義と調和の実現を意  
 味します。山本さんは、聖書の教えに基づき、平和の本質は神  
 と人間、そして人間同士の和解にあると述べられました。この  
 和解は、イエス・キリストの十字架による救済によって最も顕  
 著に示されています。

キリスト教では、赦しと和解が中心的な教えであり、平和の  
 実現にはこれらが不可欠です。山本さんは、世界中で続く紛争  
 や対立に対して、私たち一人一人が和解の精神を持ち、正義と  
 調和に基づいて行動することが重要であると強調されました。  
 また、日常生活においても、平和を実践するための具体的な行  
 動が求められており、これが社会全体に与える影響を無視して  
 はならないと述べられました。

さらに山本さんは、日本国憲法にも言及しました。日本国憲  
 法の前文には「われわれは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫  
 と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めている国際社会にお  
 いて、名誉ある地位を占めたいと思う」と記されており、敗戦  
 後に定められた憲法は、もはや「戦わない」という意志を明確  
 に示したものであると語られました。また、日本国憲法第9条  
 が、イザヤ書2章4節にある「彼らは剣を打ち直して鋤とし、  
 槍を打ち直して鎌とする」という非暴力のビジョンを反映して  
 いると述べました。憲法9条は戦争を放棄し、武力による威嚇  
 や行使を禁じる条文ですが、これは預言者イザヤが示した平和  
 のビジョンと通じており、私たちはこの平和憲法を継承してい  
 く責任があるのではないかと語られました。

山本さんは、一人一人の命が神から与えられたかけがえのな  
 いものであることを再認識し、戦争や暴力について改めて考え  
 が必要であると強調しました。そして、「私たちが今すべきこ  
 とは、イザヤのビジョンを受け継ぎ、平和憲法9条を守り続け  
 るために努力することではないでしょうか」という言葉で卓話  
 を締めくくられました。

\*\*\*\*\*

山本さんの貴重なお話を伺った後、例会に出席した皆で積極  
 的平和について意見を交わしました。また、YMCA が掲げる平和  
 の願いを共有し、近隣諸国の YMCA との長年にわたる交流関係  
 の継続や、さまざまな地道な人道支援活動も話題に上りました。  
 皆が改めて平和の尊さを心に深く刻む、良き学びの時となりま  
 した。

その後はビジネスミーティングに移り、今後の予定等を確認。  
 会長の閉会点鐘により、定刻どおり終了しました。



卓話者山本俊正さん

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

## 「第103回YMCA-Y s協議会報告」

古田 和彦

日時 2024年9月3日(火) 19:00~20:30

会場 横浜中央YMCA 6階608号室

出席者 20名 内横浜クラブ3名 (佐竹博、立花明美、古田和彦)

1. 開会礼拝 聖書 ヨハネによる福音書17章21節  
祈禱 森山 真治(横浜つづき担当主事)
2. 挨拶 横浜YMCA総主事 佐竹 博  
ワイズメンズクラブ湘南・沖縄部部長 久保 勝昭
3. 協議

(ア) ユースボランティア・リーダーズフォーラム(阿部担当主事)

- ・2024年9月6日(金)~8日(日)  
於東京YMCA山中湖センター
- ・テーマ 「私たちにとっての みつかる。つながる。よくなっていく。」
- ・基調講演 伊藤真太郎氏(熊本YMCAスタッフ)  
\*不登校支援プログラム「ぶらっとほーむ」の取り組みから社会課題に目を向ける。
- ・参加者 各拠点から2名、横浜YMCAからは中央、北とつか、八景、東とつかセンター、藤沢より各1名計6名参加。スタッフは来年度横浜YMCA主管のため2名参加。  
板崎:参加リーダーには、10月の湘南・沖縄部の部大会で報告をしていただくが、クラブ例会での報告もお願いできるか。

阿部:できる範囲で各クラブの要請に応えたい。

その場では、10月に鎌倉、11月に横浜から依頼あり。

(イ) 第27回横浜YMCA国際チャリティーラン(関口務スタッフ)

- ・日程 オンライン:10月2日(月)~16日(月)  
リアル:10月19日(土)
- ・収益は、障がい児プログラム(キャンプ、デイキャンプ、アンネのバラ育て隊他)に使われる。昨年度は支援件数21件、支援金額2,574,000円であった。
- ・ワイズにお願いしたいこと

- ① スポンサーとして昨年度と同じチーム数の協力
- ② 大会運営サポートとして、当日各クラブよりボランティアの協力
- ③ チャリティーランTシャツの購入
- ④ スポンサー協力企業の紹介
- ⑤ 地域でのチャリティーランのアピール

古田:昨年度は各クラブから3名のボランティアとの要請であったが、参加することでYMCAやワイズへの理解も深まるので、3名という制限はなくしてほしい。

佐竹:事務局としては、できるだけ経費を最小限にして、支援プログラムへの寄付としたい意図がある。ボランティア数が増えるとお弁当数も増加し、経費が増えるので、事務局で検討したい。

(ウ) 横浜YMCAフェスタ(鈴木茂つづきクラブ会長)

・2024年9月23日(月・休) 10:00~14:30 於 湘南とつかYMCA

- ・内容 専門学校に焦点をあてたシンポジウム、韓国・光州YMCAとオンラインでつなぐ、久保部長の「うたごえ広場」、ワイズ有志の絵本の読み聞かせやワイズ紹介コーナー他

(エ) 横浜YMCA140周年記念礼拝(佐竹総主事)

- ・日時:10月5日(土)  
記念礼拝 13:00~14:30 於 横浜海岸教会  
記念感謝会 15:30~17:30 於 英一番館  
礼拝の後、上海YMCAとのパートナーシップ協定締結式も行う。  
旧会員やそのご家族等にも集まっていたきたいと考えている。また歴史的資料が1945年以前のものでとても少ないので、古い資料を所蔵している方がいれば知らせてほしい。

(オ) 新クラブ設立について(久保部長)

大和市を中心に活動する新クラブ「大和クリエイティブYサービスクラブ(仮称)」が9名の会員で設立準備を進めている。設立総会が9月14日(土)、チャーターナイトは11月23日(日)。

(カ) 横浜とつかワイズメンズクラブ解散について(久保部長)

2023-24年度第3回部評議会(2024年6月22日)において、横浜とつかクラブより6月30日付で解散したいとの届け出を東日本区に提出したと報告を受け、やむなく、部として承認した。

## 4. 報告

(ア) 第31回AIDS文化フォーラム(阿部担当主事)

- ・2024年8月2日(金)~4日(日) かながわ県民センター
- ・参加者 のべ1770名
- ・分科会 34プログラム
- ・展示団体 11
- ・運営ボランティア 42名

(イ) 専門学校日本語スピーチコンテスト(立花担当主事)

- ・2024年8月30日(金) 横浜中央YMCA
- ・参加者 10名(ミャンマー、韓国、フィリピン、中国、スリランカ)
- ・最優秀賞は、YMCA健康福祉専門学校の学生(スリランカ)
- ・テーマは「一人暮らし」

(ウ) チャリティーコンサート(鈴木つづきクラブ会長)

国軍のクーデターにより国情が一変しているミャンマーで平和で公正な明日のミャンマーを目指している市民グループと手をつなぎビルマプラットフォーム(BPF)を立ち上げ、現在、韓国、台湾、アメリカ、日本の4か国、19団体が加盟して様々な支援を続けている。BPF加盟団体であるYMCAとYWCAが協働して実施するコンサートである。11月16日(土)、会場は慶應義塾大学日吉キャンパス 藤原洋記念ホールで行われる。各クラブでも案内してほしい。

(エ) 各クラブ報告

横浜:8月22日(木)に実施した納涼会には

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

39名の参加があった。9月12日(木)の例会は日本YMCA同盟会長(元 関西学院大学神学部教授)の山本俊正氏に卓話をお願いしている。テーマは「キリストの平和 一剣を打ち直して鍬とし、槍を打ち直して鎌とする」。他クラブからもぜひ参加願いたい。

横浜つづき: 9月28日(土)に都筑公会堂にて「You & I コンサート」を開催する。

横浜つるみ: 9月に1名の入会があった。

(オ) 湘南・沖縄部部名変更について久保部長より説明があった。部役員、クラブ会長、監事をメンバーとする「部名称変更検討委員会」を立ち上げ、検討する。候補を絞り11月30日の第2回評議会に提案する。

(講演内容)

現代社会で増加している不登校問題に対するYMCAの取り組みが紹介され、特に不登校児童・生徒への支援活動が焦点となりました。熊本YMCAの「ぷらっとほーむ」は、不登校の子どもたちに安心できる居場所を提供し、自己肯定感と自己効力感を育むための支援プログラムです。学校や家庭、地域と連携しながら、子どもたち一人ひとりの成長を丁寧にサポートします。「ぷらっと」立ち寄れる「家」のような場所であり、いろんな所から集まり、次のステップへと向かう駅の「ホーム」のような役割を果たしています。

この取り組みは、子どもたちに対して個別に寄り添い、彼らが自分自身を肯定し、未来に希望を持てるように支える重要な一歩とされています。不登校問題は、単に学校への出席だけの問題ではなく、社会全体で支えるべき課題です。YMCAはその解決のため的一端を担っています。

「きみでいいんだよ」という温かな眼差しで子どもたちに寄り添い、一人ひとりの「らしさ」を大切に、つないでいく。この自由で平和な「居場所」の中で、私たちは共に育ち、成長し、分かち合いながら互いを高めていきます。こうして、子どもたちがこの世界を「もっと好き」になれるような居場所を作り、互いに命を大切に育み合う社会を目指していきたいと述べられました。

② 上記の基調講演を踏まえて、ユースリーダーたちは4つのグループに分かれ、互いに語り合い、学び合い、自分の気持ちを率直に伝え合いました。その後、各グループからの発表を通じて、全員で考えを共有し、大変有意義な時間となりました。

・各グループの発表を聞いた感想として、不登校の子どもたちへの居場所づくりや相談支援を積極的に行っているNPO法人キーンデザイン代表の土橋優平氏の以下の言葉が印象的でした。

『自分と向き合い、自分の言葉で、皆がしっかりと意見交換できたと感じました。このフォーラムは、楽しさだけではなく、YMCAのブランドコンセプト「みつかる。つながる。よくなっていく。」をさらに深める必要があると感じます。このフォーラムの目的を考え、学びを持ち帰ってほしい。「学ぶ力」とは何だろうか? という問いに対して、ある人が「出会いを自分のものにする力」と答えたことが印象に残りました。不登校についても、一般的には「子どもが不登校になってしまうことは良くない」という価値観が前提にあります。実際には多くの親子がこの問題に悩んでいます。ところが、半年から1年が過ぎて、その捉え方が変わった保護者の方に出会うことがあります。中には、「子どもが不登校になって良かった」という方や、「子どもが不登校になったことで私は幸せになり、感謝しています」と言う方もいます。これについて、「皆さんはどう感じますか?」という問いを、最後に投げかけて終わりたいと思います。』

③ リーダーとしての人間の成長や自分自身の再発見、さらに社会的課題に対応するための実践的なスキルが今後ますます求められています。

ウォーターアクティビティ(ビッグカヌー乗船)やグラウンドアクティビティ(キャンプファイヤー)など、楽しいプログラ

## 『第36回ユースボランティア・リーダーズ・フォーラム報告』

湘南・沖縄部ユース事業主査 古賀 健一郎

第36回ユースボランティア・リーダーズ・フォーラムは、東日本に位置する各YMCAからユースリーダーや関係者が集い、9月6日から8日の2泊3日の日程で、東京YMCA山中湖センターにて開催されました。参加者はYMCAのユースリーダーやワイズメンバーを含む約70名にのびりました。

Y・V・L・F(ユースボランティア・リーダーズ・フォーラム)は、1987年9月27日、晴海埠頭に停泊していた「こっぼん丸」の船上で開催されたワイズメンズクラブ主催の「リーダーズミーティング」を起源としています。東日本区内のYMCAのユースボランティアリーダーたちの参加費用(宿泊費・食費・交通費など)はワイズメンズクラブによって支援され、YMCAとワイズが共同で実行委員会を設け、企画・運営を行っています。YMCAスタッフが事務局を担い、ワイズメンズクラブとの強い連携のもとで開催されているイベントです。

YMCAのユースリーダーの活動は、子どもたちに近い存在として、共に学び、感動し、寄り添いながらその成長を見守るものであり、自身も共に成長していく活動です。主な活動には、野外活動、スポーツ活動、国際・平和活動、学童保育活動が含まれます。

今年度も東日本各地から多くの若者たちが集い、互いに語り合い、学び合い、尊敬し合いながら、自分の気持ちを率直に伝え、自己の責任感を育んでいく充実したフォーラムとなりました。

### 【今年のフォーラムのテーマ】

『私たちにとっての みつかる。つながる。よくなっていく。』

① 基調講演: 伊藤眞太郎氏(熊本YMCA)

『不登校児童・生徒支援プログラム「ぷらっとほーむ」の取り組みについて』

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

ムも用意され、大変充実した3日間を過ごすことができました。

来年度のY・V・L・Fは、横浜YMCAと湘南・沖縄部が担当となります。皆で協力し合い、実り豊かなフォーラムにしていきたいと思えます。

(最後に)

第2日目のユースボランティア・リーダーズフォーラム(YVLF)において、突然体調を崩し、救急ヘリで病院に搬送されたものの急逝された、YVLF実行委員長であった城田教寛ワイズのご冥福を心よりお祈り申し上げます。また、ワイズでの献身的なお働きに対し、深く感謝申し上げます。



横浜YMCAユースリーダーの方々と



ワイズ参加者の方々と(山中湖にて)

## <横浜YMCAフェスター私たち会員の集いー報告>

古田 和彦

日時 2024年9月23日(月・休) 10:00~14:30

会場 横浜とつかYMCA1階ホール他

出席者 約150名 内横浜クラブ4名(古賀、佐竹、立花、古田)

1. 開会礼拝 聖書 フィリピの信徒への手紙1章9-10節 祈祷 鈴木茂会員事業委員
2. 挨拶 会員事業委員長 古賀健一郎(横浜クラブ)
3. 内容

A. 10:20-11:00 知りたい!あなたの知らない専門学校  
横浜YMCAには3校の専門学校がある。中央Yにある横浜YMCA学院専門学校、とつかYにある横浜YMCAスポーツ専門学校、厚木YにあるYMCA健康福祉専門学校である。それぞれ育てようとする人材は異なるが、3校が協力して人間の体、骨格や筋肉の働きについて講師の先生と共に実演してその働きを紹介した。

B. 11:00-11:40 繋がりたい!世界の仲間 韓国光州YMCA

会場と光州YMCAをオンラインでつなぎ、両YMCAの長い交わりを確認するとともに、今、光州Yに研修しているスタッフが現地の様子、光州Yの人々を紹介し、オンラインで交わりを持つことができた。

C. 11:50-12:50 YMCA マルシェ

ウクライナ物産、パヤオグッズ、アンジュのパン・クッキー、レザンのコーヒー、能登半島物産が展示販売され、昼食をとるとともに物産の購入をした。また、ホールでは、ハンドベルの横浜YMCAポートフレンズによる演奏、参加者の演奏体験が行われた。2階教室では、各事業のほかワイズメンズクラブなどがそれぞれの働きのアピールと実演を行った。ワイズメンズクラブは、絵本の読み聞かせ活動を行った。

D. 13:00-13:30 うたごえ広場

横浜つるみクラブの久保ワイズを中心にうたごえ広場を実施。子供たちとのキャンプソング、フォークソングで声を合わせて楽しんだ。

E. 13:40-14:10 ビンゴ大会

賞品が用意され、1位にはお米など、最後の人にも賞品が手渡され、数字の発表に一喜一憂した。

4. 閉会礼拝

「横浜YMCA—私たちの使命—」を全員で交読し、佐竹専総主事の挨拶で閉会した。

参加した感想ですが、専門学校3校の人たちが協力して一つのテーマ(骨格と筋肉)に取り組んだこと、オンラインで韓国・光州YMCAをつながり交流できたことは今までにない企画でよかった。私個人は、お昼の時間に日本語能力検定試験N1程度の問題に触れることができ、留学生に目標としているレベルを実感でき感謝であった。

## 近況

白内障手術をして

古田 和彦



3年ほど前、眼科に行き、白内障の手術が必要かどうか相談してみた。その時は、まだ、それほど進行していないので、しばらく様子を見てはどうかと言われ手術は行わなかった。それでも、メガネが少しずつ合わなくなってきており、

メガネを変えるのならば、白内障の手術をしてからの方が断然よい(新しい眼鏡が無駄にならない)のである。そんなわけで、この春、再度、眼科で診断を受けたところ、医師が言うには、相変わらず、手術をしてもよいがまだしばらくそのままでもよいとのことであった。でも、80歳にもなった私としては、この後そんなに人生の残りはないのだから、どうせ手術をするなら早い方がよいと考え、手術を希望した。

診察を受けた眼科は、私の希望により医者を選んでよいとのことであったので、近所の方々の評判を参考に、手術を執刀していただく医師を伊勢佐木町のI眼科と定めた。また、

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

私のいろいろな都合を勘案して、手術の日程を7月22日に右目、7月29日に左目とした。22日、日帰りで右目の手術をし、妻に付き添ってもらい帰宅した。その日は、ぼんやりしていて目がどのように変わったか半然としなかったが、翌朝、ベランダに出てみると、世の中が今までとは全く違い、とても明るく見えてびっくりした。白内障の手術とはこのようなものかと感心もし、その成果に満足もした。1週間後の29日には右目も同様に行われ、執刀医によると手術は成功とのことであった。以来、おかげさまで今まで見えなかったところがよく見えるようになり、今まで気づかなかったところに気が付くなど新しい生活を与えられ感謝しているこの頃である。

できるなら、「こころの目」も手術をして、この不確かな、争いの多い世の中をしっかりと見定めることができるようになりたいものである。

#### \*\*\*\*\*日本語スピーチコンテスト評価会報告\*\*\*\*\*

秋元 美晴

8月30日に行われたコンテストの振り返りが、第二例会開催前の17:00~17:40まで行われた。司会はYMCA健康福祉専門学校の前岡先生で、YMCA日本語学校の竹山先生、厚木ワイズの佐藤さん、横浜ワイズメンズクラブから大高、古賀、立花、古田、秋元ワイズが出席、zoomで行われた。

課題：・音声の不具合(PCの問題)・努力賞の金額2000円をアップするか(協賛を増やすか)・2025年度の会場の形式について(対面にするか、オンラインにするか)・日程について(今回は8月だった)・交流会までの時間の使い方(間延びしてしまうので、盛り上がりがほしかった)

感想：・内容が充実していた・会場に参加者がいてよかった・スピーチのタイトルみただけで素晴らしい・スピーチの内容が身近な話題でよかった・みんな頑張っていた・テーマに広がりがあった

要望：・スピーチの原稿を大会以前に審査員にいただきたい(→何人かからこの要望については反対の意見があった)

- ・2025年の大会はコロナ禍以前のように神奈川県立県民ホールで開催して、多くの方に来ていただけるようにPR作戦を考えてはどうか。
- ・可能なら、コロナ禍以前のように対面で行いたい。
- ・東京YMCAに声をかけてはどうか。(→横浜YMCAと厚木YMCAの2校を中心に行いたい)

\*\*\*\*\*

#### 9月第二例会報告

秋元 美晴

日時：9月26日(木)17:40~18:30 zoom開催

出席者：秋元、大高、古賀、立花、古田

《今後の行事予定》

確認した。

《協議・報告事項》

#### (1) 湘南・沖縄部の部名公募

横浜ワイズメンズクラブとしては、湘南部、神奈川部の2つの部名を提出する。

#### (2) 10月以降の例会

- ・10月(案)：留学生(OB、OG)との交流会→立花さんに探していただく
- ・11月(案)：YVLE参加リーダーからの報告を聞く会→依頼済み
- ・12月(案)：中央Y各部門(館外も含む)訪問
- ・1月：YMCA・ワイズ合同新年会(第一例会とする)
- ・2月：YMCA会員総会(第一例会とする)

#### (3) ブリテン10月号編集計画

#### (4) その他

- ① 9/28 You&I コンサート チケット1000円
- ② 10/5 横浜YMCA140周年記念礼拝・感謝会  
13:00 礼拝 横浜海岸教会  
15:30 感謝会 英一番館 2000円会費
- ③ 10/19 第27回チャリティーラン ボランティア参加者(秋元、大高、古賀、古田)
- ④ 11/16 ミャンマー支援チャリティーコンサート 日吉慶応大学 3000円
- ⑤ 11/23 バザー(11/22 値段づけ、献品の締切日、大人の衣類の受付について)
- ⑥ 10/12 美しい港町横浜清掃活動 大高、古賀、古田  
8:20-11:00 桜木町日本丸メモリアルパーク集合し、大通公園石の広場まで
- ⑦ 区から「サポートファンド献金」の依頼が来ている。募金期間2024/8~2025/4 一口1万円 個人あるいはクラブで  
東日本区が行う最低限の活動に不足する部分を補うために用いる。



担当主事 立花 明美

YMCAで働く教職員が研修やフォーラムなどに参加する時期となりました。また、次年度募集の準備も始まり、行事が多い時期となりました。

9月2日(火) YGK引き渡し訓練

9月4日(水)~10月6日(日)

横浜YMCA学院専門学校国際情報ビジネス科  
インターンシップ開始

9月5日(木) サンモールインターナショナルスクール訪問

9月6日(金)~8日(日)

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

- ユースボランティアフォーラム山中湖
- 9月8日(日) ユース職員交流会
- 9月13日(金)～15日(日) 学生YMCA 夏期ゼミナール
- 9月15日(日) ジュニア&マスターズ水泳大会
- 9月20日(金) 横浜 YMCA 学院専門学校日本語学科前期卒業・修了式
- 9月21日(土) 横浜 YMCA 学院専門学校国際情報ビジネス科オープンキャンパス
- 9月23日(金) YMCA フェスティバル@湘南とつかYMCA
- 9月25日(水) 親子わくわく English!!
- 9月31日(土) 横浜 YMCA 学院専門学校国際情報ビジネス科オープンキャンパス/入試

## 10月例会プログラム

日時：10月10日(木) 17:00～18:30

場所：中央YMCA・オンライン

司会 齋藤宙也ワイズ

1. 開会点鐘および挨拶・・・・・・・・古田会長
2. ワイズソング・ワイズの信条・・・・全員
3. 今月の聖句・・・・・・・・松島ワイズ
4. ゲスト・ビジター紹介・・・・・・・・古田会長
5. 留学生との懇談  
ライ デビナさん (横浜 YMCA 専門学校)  
グエン ティ マイ タオさん (同上)
6. ビジネス・報告・・・・・・・・古田会長
7. *Happy Birthday*
8. 閉会点鐘・・・・・・・・古田会長

例会報告：齋藤ワイズ

## ＜11月の 行事予定＞

日	曜日	時間	行事内容	場所
14	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央Y
22	金	13:00	バザー準備作業	中央Y
23	土休	10:00	横浜中央YMCA ウエルカムフェスタ	中央Y
24	日	13:00	Yサービスクリエイティブクラブ チャーターナイト	大和市
30	土	14:00	部 第2回評議会	とつかY

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA 立花明美にご連絡ください。

メール tachibana\_akemi@yokohamaymca.org

電話 045-661-0080